



【教会の奉仕の働きはどのように】

説教者: 鄭南哲ちよんなむちよる牧師

聖書箇所: エペソ人への手紙4章11節～16節(新改訳2017版)

11こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。12それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです。13私たちはみな、神の御子に対する信仰と知識において一つとなり、一人の成熟した大人となって、キリストの満ち満ちた身丈にまで達するのです。14 こうして、私たちはもはや子どもではなく、人の悪巧みや人を欺く悪賢い策略から出た、どんな教えの風にも、吹き回されたり、もてあそばれたりすることがなく、15 むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において、かしらであるキリストに向かって成長するのです。16 キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わされ、つなぎ合わされ、それぞれの部分はその分に応じて働くことにより成長して、愛のうちに建てられることになります。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！一週間もお変わりありませんか。新しく始まった3月、24年度最後ともなりますが、みなさんの家庭の主の御守りと更なる祝福を心よりお祈り申し上げます。学年末最後の月を迎える子どもたちや学生たちの全学校、保育園などの生活が全て祝福されますように、今月の職場でのお仕事の全ての手の業が守られ、主の御助けが豊かにありますように心からお祈り申し上げます。アーメン！

本日は教会についての3回目の説教です。1回目は共同体(教会)として召された理由について、先週は教会の本質と役割について学びながら教会は神の癒しの御業によって回復され、癒されていく病院であることを学びました。今日は3回目として、教会の本質を達成する方法に関して聖書を通して一緒にまなびたいと願います。特に、聖書に牧師や信徒が行う働きと役割が何かについて学んでみたいと願います。

正直に私はもともと「信徒」という言葉を好まない者です。信徒も皆、牧師のように生きるべきだと考えているからです。謝礼を頂いている牧師であるか、頂いてないで、各自ご自身のお仕事を持っているのかの違いのみです。しかし混乱を避けるために、今日の説教では聖書に書かれているように牧師ではない方々を「聖徒」あるいは「信徒」と呼ぶことにさせていただきます。

例え、わたしも昔兵士としての経験がありますが、戦場で勝利するためには、さまざまな分野における専門的な支援が必要となるでしょう。実は、私も軍隊の時には、通信部隊で機密2級の通信の役割をするパートでの任務を果たした経験がありますが、本部では、ある兵科を持つ兵士をどの場所に配置すべきかを判断し、配置します。同じように教会が霊的な戦い中で勝利するために、神は適切な人々を派遣してくださいました。

本日聖書本文11節「**こうして、キリストご自身が、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。**」すなわち、教会のかしらなるキリスト義自身は御体なる教会に使徒、あるいは預言者、または福音を伝える者、あるいは牧師や教師としての使命を与え、教会に与えられたと教えられています。

ここに挙げられている人々は、どのような働きをする人たちでしょうか。

まず、**使徒(使徒)**は、「**遣わされた者人たち**」を意味します。例えば、ペテロやヨハネが使徒でした。彼らは一つの群れにずっと留まりつつ、牧会した人々ではなく、福音がまだ伝えられていないところへ行き、教会を建ててから、次の地へと伝導の旅立つ人々でした。神は教会に使徒を与えられました。現在、使徒の使命を受けられている人々といえば、宣教師だと考えられます。

預言者は、一言で**神の代弁者の役割**を担います。預言者は占い師と似てるように人かのような認識を持っている方々がいるならば、それは違います。神が語りたことがあるとき、ある人を選び、その代弁者として

立たせ語らせます。この役職を担う人々が預言者でした。そんな面から見れば、現在のすべての説教者は預言者にならなければなりません。預言者は民の間違いを指摘する使命を担っています。間違っているのにも関わらず、気づかない人々や、神の御心から外れているにもかかわらず違う道を進んでいる人々に、間違いを指摘し、神の御心と御言葉への正しい道を示すのが預言者の使命だと言えます。

神は**福音を伝える者(伝道者)**も与えて下さいました。英語の単語で「Evangelist」は、ここで使われているギリシャ語、「福音を伝える者」という単語の文字をそのまま移して書かれた単語です。「福音を伝える者」は、**信じてない人々に向けて福音を伝え、その人々がイエスを信じるよう助け導く特別な賜物を持つ人々**を「福音を伝える者」と言えます。例え、以前アメリカのビリー・グラハム牧師のような先生がまさにこのような賜物を持った牧師だと考えられます。ビリー・グラハム牧師の説教は、とてもシンプルでした。当然で基本的な聖書の真理を語るのも、長く教会に通っている方々には退屈に感じられるかもしれません。しかし、説教が終わった後、お招きの時には多くの人々が壇上に出てくる光景を見ると、神が与えられた特別な賜物であったと実感します。神は信じていない人々に福音を理解させ、イエス・キリストを受け入れる決心をするように導けるように「福音を伝える者」を教会に与えられました。

次に、**牧師と教師**が挙げられています。原文で「**牧師」と「教師」という二つの単語の前には、一つだけの冠詞が使われています**。これは牧師と教師が二つの異なる職務ではなく、一つの職務を指していることを意味します。**牧師となった者は少なくとも御言葉を教えらるる人でなければならない**という意味が含まれています。神は**神の御言葉を通じて羊を養う「牧師であり教師」**を教会に与えられました。

このように様々な職務を持つ人々の共通点は、神の御言葉の働きを行う専門働き人たちであるということです。今日で言えば、神学教育を受けた牧師を指し言えるでしょう。神が彼らを教会に与えられた理由は今日の聖書本文、**エペソ人への手紙4章12節**に書かれています。

「それは、**聖徒たちを整えて、奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためです**。」と述べられています。「**キリストのからだ**」は、使徒パウロがよく使われた表現として、「**教会**」を意味します。「**聖徒たちを整え**」、「**奉仕の働きをさせ**」、「**キリストのからだを建て上げる**」という三つの役割のうち、どれが牧師の働きで、どれが信徒の働きでしょうか？私たちが聖書を表面的に読むと、これら三つすべてが牧師の働きであるかのように見えます。

しかし、多くの注釈書(ちゅうしゃく)では、「**聖徒たちを整える**」という主語は、前に列挙されている**説教者**、すなわち**牧師**であり、「**奉仕の働きをさせ**」「**キリストのからだを建て上げる**」の主語は**聖徒**つまり、**信徒**であると教えられています。この箇所は牧師と信徒の間での**役割分担**をよく示し教えて下さる御言葉でしょう。ここで、我々は神が望まれる教会を建て上げるためには、**役割が分担される必要**があります。

神に遣わされた牧師がすべきことは、聖徒である信徒を整えさせることです。信徒の賜物が何であるかを発見し、それを開発させ、賜物を活用できるように訓練させ、その賜物を通じて**奉仕の機会を提供すること**が牧師の役割です。**信徒の役割は、奉仕の働きさせ、教会を建て上げる**ことです。「**奉仕**」という言葉は、「**執事**」という言葉と語源が同じで、**執事は「ウエーター(給仕人)」**という意味であります。**信徒はウエーター(waiter)のように仕える奉仕を通じて、教会を建て上げる役割**を担っています。

聖書には牧師がすべきことと信徒がすべきことが明確に記されているのにも関わらず、少なくない教会では働き(役割)分担が正しくなされてない場合があるように思われます。牧師さえもこの働き分担に関して混乱していることがよくあります。その結果、**牧師自身がすべきことをせず、信徒がすべき働きを奪って行ってしまう場合があります**。**聖徒を訓練させ、奉仕の働きができるように養うことが牧師の働きであり役割**ですが、それを行わない牧師もいます。一部の牧師は、それが牧師 御自分の役割であることすら理解していない場合もあります。中には「**聖書学びをあまりさせるな。頭ばかり大きくなると問題が多くなる**」と言いながらわざと信徒たちを訓練することを断る牧師もいると思います。そして、信徒がすべき奉仕の働きや教会を建て上げる働きを奪ってしまっています。**その結果、信徒たちが働く奉仕の機会を奪われているのです**。

信徒の方々も、神の御前に立たされたとき、何かを示し出すことができる働きが必要ですが、その機会がすべて奪われてしまったのです。**このように働きの分担が御言葉通りに相応しく行われていないため、絶え**

ず教会の中で問題が生じるのは当然なことかも知れません。

信徒が主の働きをすることは、信徒としての特権なのです。 教会は神が望まれる教会となるためには、牧会者はこの特権を信徒に戻さなければなりません。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族の皆さん、私たちの教会は神が望まれる教会となるように一緒に目指しましょう。私は信徒の皆さんを整えさせることに集中致します。皆さんの賜物が何であるか見出させるように、皆さんを訓練させて、主と主の教会の為に尊く用いられて、神の御前に立たされたときに、「私はこのような主の奉仕の働きをしてまいりました！」と報告できる人生となるように助けてあげたいです。ですから、皆さんはそれぞれの奉仕の働きを果たしてください。

皆さんが私の牧会を助けるのではなく、私が皆さんの牧会を助けるのが聖書で教えている働きに関する御教えなのです。

このような聖書に基づいた教会となるためには、教会の信徒一人ひとりみんなが奉仕の働き手となる必要があります。本節16節には次のように書かれています。

「キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わされ、つなぎ合わされ、それぞれの部分がその分に応じて働くことにより成長して、愛のうちに建てられることとなります」と書かれています。

我らの聖書を読んでも、何度も読まないとその正確な意味が分かりにくい内容ですね。しかし、この箇所の意味が完全には分からなくても、この箇所にいくつかの重要な単語が目に入ります。

「全体」(all body)、「あらゆる節々」(every part)、「それぞれの部分」(each member)という単語です。

パウロはここで、**信徒は一人も例外なく全員が奉仕の仕える働き手、働く人となるべき**であることを教えられています。教会が真に主の御体であり、**信徒が真にキリストの体の一部分であるならば、誰一人として漏れることなく、すべての人が(all, every, each member)主の働きを果たさなければなりません。**連絡を取り合い、助け合い、有機的につながりを築く必要があります。それぞれの部分は、**自分に与えられたその分に応じて、頂いた恵みに応じて、与えられた信仰の分量に応じて、**大きければ大きいなりに、小さければ小さいなりに、自分の役割を果たさなければなりません。

すべての信徒が一人も抜けることなく、キリストの体となることは、従来の伝統的な教会構造では不可能です。例え700~800人が集まる伝統的な教会で、できる意味のある働きの数は大体150種類を超えないという統計があります。そしたら、残りの550人は、奉仕の働きをしたくてもできる場がなく働けなくなるという意味となります。従来の伝統的な教会構造の中では、主に仕え、体の一部としての役割を果たしたくても不可能です。構造上に、できる道が閉ざされています。日曜礼拝に欠かさず礼拝に出席し、十分の一献金などの献金を捧げる以外に、信徒ができる奉仕の働きはあまり多くありません。

ですから、私たちは教会を分けなければなりません。10人程度の小さな教会を多く作る必要があります。

10人程度であれば、一人ひとりみんなが奉仕の働きに加わり、共に協力することができます。他人を気遣う心を持つ人は世話の働きを、教える賜物を持つ人は教える働きを、励ましの賜物を持つ人は励ましの働きを、物質的に余裕がある人は他人を助ける働きを担うことができます。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族、家の教会はこのように小さな教会です。

家の教会は主が望まれる本来の教会の働きを可能にさせると信じます。

すべての信徒(all, every, each member)がキリストの体の一部として役割を果たすためには、家の教会の姿こそ、聖書が教えている最適な教会環境であり、構造ではないでしょうか。いよいよ来週24年度を振り返りつつ、新しい25年度の目標やそれぞれの奉仕者を決めようとしています。今までもクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族みんなとともに奉仕をし、共に献身的に仕えつつ、ここまで主の教会が建てられて来たことに主に感謝し、みなさんにも心から感謝致します。新しい25年度にも愛のうちに、共に愛のうちに仕え合いながら建てられていくクリスチャンプレイズチャーチとなり、そのうちにみなさんもさらに成長し、主の御手の中で大いに用いられますように神の祝福を心からお祈り申し上げます！アーメン！